

2014年8月

受益者様各位

東京海上アセットマネジメント株式会社

「東京海上・ニッポン世界債券ファンド（為替ヘッジあり）」の
ポートフォリオ組み入れ状況のご報告

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、掲記ファンドが主要投資対象としております「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」（以下、「マザーファンド」）につきましては、主に「日系発行体の外貨建債券」に投資し、「安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長」を目標に運用を行っております。ポートフォリオ構築に際しましては、利回り水準に配慮しつつ銘柄選択を行っておりますが、昨今の世界的な金利の低下、信用スプレッドの縮小により、債券利回りが低水準にある環境の中で、相対的に利回りの高い劣後債の組入比率を高めてきている状況にあります。

つきましては、今後もこうした状況の継続、および更なる劣後債組入比率の上昇が想定されることから、直近のポートフォリオ組み入れ状況について報告させていただきますので、内容をご高覧いただき、今後の投資判断にお役立ていただきますようお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら販売会社、または下記弊社サービスデスクまでお問い合わせください。

引き続き、運用目標の達成、運用成績の向上に努めて参る所存です。今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

<お問い合わせ先>

東京海上アセットマネジメント株式会社
サービスデスク 0120-712-016

* 土日祝日・年末年始を除く 9時～17時

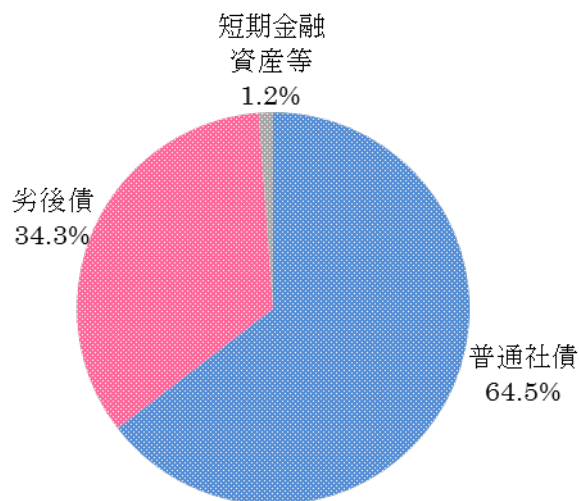
【マザーファンドが投資する債券の範囲】

当ファンドが実質的に投資対象とする外貨建債券は、一般事業法人が発行する社債や金融機関が発行する劣後債のほか、地方公共団体や国際協力銀行等が発行する特殊債等です。海外で発行するため、海外現地法人等が発行体となっている場合があります。

【劣後債とは】

発行体の経営破たん時に、借入金や普通社債等よりも債務弁済の順位が劣る債券のことです。その分、普通社債等に比べて利率が高くなります。償還期限に定めのない「永久劣後債」と、償還期限がある「期限付劣後債」があります。

【マザーファンドにおけるポートフォリオの組み入れ状況（2014年7月末時点）】



※比率は純資産総額に占める割合です。

※短期金融資産等は、組入有価証券以外のものです。

■当資料は、東京海上アセットマネジメントが受益者の皆さまへの情報開示を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料は特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。このため、当資料を用いた勧誘行為は禁止いたします。■当資料に掲載したグラフは過去の運用実績であり、将来の運用実績等を保証するものではありません。